



園だより

令和3年5月6日

平和台幼稚園

<http://www.okamoto-gakuen.com>

子ども考

新緑のまぶしい季節となりました。園庭のケヤキの新芽が日に日に緑を濃くしています。落葉までの半年間に酸素を供給してくれることに、自然の循環のすごさを感じます。またその木々と並んで悠々と泳ぐ鯉のぼりにこれからの希望を感じます。

さて、子ども達の賑やかな声で幼稚園が始まり、活気ある空気が流れています。朝、正門から元気に挨拶し走って教室に向かう子ども達に心も安らぎます。しかしお母さんと離れられずに泣きそうな子もいます。それぞれに理由はあるのでしょうか。ある男の子、その日お父さんが送って来ました。キリッとした顔をして足取り軽やか教室にまっしぐらです。昨日までは足取り重く、母親にしがみつきながら今にも泣き出しそうでした。翌日お母さんにその話をしたところ「父親にはかっこいいところを見せてくて！」と言っていました。3才の男の子にも男の意地が芽生えているのかと感心しました。

人にはそれぞれ思うところに意地があります。そのことが世の中のいろいろな事を動かしてきたことは歴史が証明しています。私の尊敬する二宮金次郎先生は少年期に夜勉強がしたくて、菜種油を燃やして照明にし勉強しました。それを見た叔父が「油がもったいないから勉強などするな百姓には学問は必要ないんだ」と金次郎少年に言い放ったのです。そこで金次郎少年は意地を見せます。川沿いの土手にアブラナを植え菜種を採取し压榨しました。油を自分用に作り出したのです。そして中国の古典を深く学び、のちに多くの人々を飢えから救う大事を成し遂げるのです。今回の男の子が見せた意地に大きな拍手を贈ります。その次の日からはお母さんと一緒に登園しても泣くこともなく、瞳を輝かせながら大きな声で挨拶をして教室に向かっています。自分の前にあるハードルを乗り越えたのです。

今月は園庭に小さな畑を作ったり、バケツに小さな田んぼを作ります。昨年その田んぼで収穫したお米（3合程度）を10月のカレーパーティーでいただきました。年長さんに毎年話すのですが、このお米は日本人が2000年以上作り続けてきた作物で、その作業には独特の呼び方があります。田んぼに稲の苗を植えることを『田植え』といい、秋に実った稲を刈り取る収穫作業を『稲刈り』ということを伝えます。農作業にかかる言葉を忘れずにしたい一念です。また年長さんはピーマン、年中さんはミニトマトの鉢植え作業をします。植物を育てる楽しさを親子で楽しんでいただけると幸いです。

園長

5月行事予定

7・金	年中組園外保育(子どもの森)☂10
11・火	年長組園外保育(子どもの森)☂14
17・月	年少・年中組入園進級写真撮影
18・火	内科検診
26・水	誕生会
28・金	歯科検診

6月行事予定

1・火	衣替え
4・金	歯磨き指導
9・水	防犯訓練
15・火	県民の日 休園
17・木	個別面談(午前保育)
18・金	個別面談(午前保育)
21・月	個別面談(午前保育)
22・火	個別面談(午前保育)
30・水	誕生会

<予定の変更>

- * 6月に予定されていた水遊び・プール遊びは感染症対策の一環で行わないことになりました。
- * 7月15日・16日に予定されていた夏祭りは日程を変更して学年ごと保育中に行うことになりました。これに伴い、午前保育開始日を7月15日から7月19日に変更します。
- * お子さんがお持ちの出席ブックには「7月19日 海の日」となっていますが、暦が変わった為、**保育を行います。**

<お知らせ>

- * 年中組・年長組の園外保育については4月28日(水)のアプリでお知らせしている通りです。弁当は、子どもの森では食わず、園に戻ってから食べます。(通常通り保温器で温めます)
- * 今月のリサイクル活動は**5月27日(木) 午前8時30分～9時**です。
 - ・ビンや缶類は随時出せます。
 - ・不要の自転車等もリサイクルできます。
 - ・段ボールなど大きな物や重い物はいつでも車で搬入できます。その際は、必ず園に電話をください。安全を考慮し、時間を指定し搬入していただきます。ご協力をお願いします。(不明な点は園までご連絡ください)

<ボランティア活動にご協力を>

流山市社会福祉協議会からの依頼により本園でもこの活動に協力し、思いやりの輪を広げようと考え収集ボランティアをしています。いろいろな商品についているベルマーク、使用済み切手などを捨てずに、お手数ですが収集して下さるようご協力をお願いいたします。収集しましたら随時、お子さんに持たせてください。

<爪を正しく切って衛生管理>

爪は長すぎても、短すぎてもいけません。足の指先に爪があることでつま先に力が入り上手に歩けます。また、手の指先に爪があることで力を調整して物を掴むことができます。従って子どもの爪を正しい長さに切っておくことは、日常の生活を気持ちよく送るために必要なことといえます。爪は日本人の成人で1日で約0.1ミリ伸び、親指・人差し指・中指・薬指・小指の順に伸びます。